

通常診療で得られた情報を用いる臨床研究についてのお知らせ

研究課題名	ICD-11 時代の AI 支援 ICF 情報整理：作成時間短縮と実装可能性の検証
研究責任者	福田 香織（診療部・医師） 研究実施施設：錦海リハビリテーション病院
倫理審査	承認日：2026 年 7 月 22 日 承認番号：26-03
研究実施期間	2026 年 8 月 3 日～2026 年 9 月 30 日 受付：平日 8:30～17:30

本研究は、通常診療で得られた診療情報を用いて行う観察研究です。患者さんに新たな検査、治療、リハビリテーション内容の変更をお願いするものではありません。

1. 研究の目的

回復期リハビリテーション医療では、日常生活動作、認知・コミュニケーション、家庭環境、退院後の生活などを総合的に整理することが重要です。本研究では、院内ローカル LLM（大規模言語モデル）を用いて ICF 情報整理のたたき台を作成し、作成時間の短縮や臨床での活用可能性を検討します。

2. 対象となる方

研究期間中に当院へ入院され、ICF 評価が必要と判断された患者さん 20 例を対象とします。

3. 利用する情報

診療情報提供書、看護サマリー、看護記録、リハビリテーション評価、電子カルテ記録、年齢層、性別、主疾患、症例の複雑度、ICF 情報整理の作成時間や評価結果などを、研究に必要な範囲で利用します。

4. 院内ローカル LLM の利用と安全性

院内ローカル LLM は院内端末上で処理を行い、外部インターネット、外部クラウドサービス、外部 API には接続しません。患者さんの情報が院外へ送信されたり、外部サーバーに保存されたり、外部 LLM の追加学習に利用されたりすることはありません。

LLM が作成した内容は、診断、治療方針、ICF 評価、看護診断、看護計画を自動決定するものではありません。多職種カンファレンスや看護計画作成時のたたき台として用い、最終的には医師、看護師、リハビリテーション専門職等が確認・修正します。

5. 個人情報の保護

解析用データセット作成時には研究用 ID を付与し、氏名、患者 ID、生年月日、住所など、個人を特定できる情報を除去して管理します。研究結果を公表する場合にも、患者さん個人が特定される情報は含めません。

6. 情報利用を希望されない場合

ご自身またはご家族の診療情報を使用してほしくない場合は、下記までお申し出ください。拒否されても、今後の診療やリハビリテーションで不利益を受けることはありません。すでに匿名化・集計・解析が終了している場合には、個別に除外できないことがあります。

7. 問い合わせ先

問い合わせ窓口：	診療部 担当者：福田 香織	電話：0859-34-2300（内線 340）
----------	---------------	-------------------------

掲示日：2026 年 7 月 31 日